

(別紙 2 - 1)

令和 6 年 2 月 1 3 日

二本松市議会議長 様

会 派 名 真誠会

代表者名 佐藤 有



視察・研修報告書

当会派において、下記により視察（研修）を（に）実施（参加）しましたので報告いたします。

記

1 期 間 令和 6 年 2 月 6 日（火）～ 2 月 7 日（水）

2 参加者 ① 佐藤 有 ② 堀籠 新一

③ 佐久間 好夫 ④ 坂本 和広

⑤ 高宮 正彦 ⑥

3 視察（開催）地及び視察（研修）内容

・東京都墨田区横綱 1 丁目 6 - 1

K F C H A I I 2nd

・2024 年度 予算審議に備える

時代の変化に対応する自治体財政と政策



(別紙 2 - 2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 真 誠 会
氏 名 江 藤 有

○ 月 日 24 年 2 月 6 日 (~ 7 日)

○ 場 所 東京都墨田区 KFC ホール

○ 内 容 2024年度予算審議に備える他

○ 視察・研修の感想

全国どの自治体も人口減少が進み、地方経済が低迷する中、自治体財政に与えられる財政運営のなか、教育や福祉などへの予算中とくと増大し行政サービスが充実しない現状であり、これらの課題解決に向けて大変有意義な講演であった。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

自治体財政のあり方もあらゆる視点に立ち、地方交付税・地方債ふりまきと納税者を中心とした考えのもと、予算審議のポイントなど歳入面との講義を聞き、自治体財政のあり方や予算審議のポイントなど本市の市政に対する取組を想定しながら、この研修を役立てていく。

視 察 ・ 研 修 報 告 書

(第 24 期自治政策特別講座)

会 派 名 真 誠 会

会 員 名 堀 籠 新 一

視 察 日 令和 6 年 2 月 6 日 (火) ・ 7 日 (水)

視 察 先 東京都墨田区 KFC Hall

視察内容 2024 年度予算審議に備える～時代の変化に対応する自治体財政と政策
6 日 講義【まち保育】のススメ、自治体財政の見方やポイント
7 日 講義 国際的な食料需給情勢と真の食糧安全保障
生成 AI 政治・行政での応用

視察の感想

第 1 講義 【まち保育】のススメ 三輪 律江 教授

『まち保育』とは子どもの育ちに“まち”を開き、子どもとともに“まち”が育つ…子どもと保護者の育ちを血縁関係だけでなく、地域社会全体で共有するため多様な主体を巻き込みながら地域資源を活用した、まちとの関わり方を促す手法であるとの事である。「保育」では乳幼児を適切な環境のもとで健康・安全で安定感をもって活動できるように養護するするとともに、その心身を健全に発達するように教育することであり、「まち保育」は子どもたちの生活をより豊かにするものであり、まちにある資源を保育に活用し、まちでの出会い関係性を広げていくこと、そして身近な地域社会と一緒にあって、まちで子どもが育っていくことであり、まさにまちで育てる、まちで育つ、まちが育てる、まちが育つことであるので、子育て支援の場に於いても、家庭生活に於いても、地域の活動に於いても、「子どもがまちで育つ」ことを視点に大切にしたい。

第 2 講義 自治体財政の見方やポイント特に歳入関係から予算書を読む 金目 哲郎教授

私達が安心して暮らすうえで欠かせない行政サービスで、豊かで幸せな社会を創るための条件づくりが財政である訳ですが、自治体財政の現状は、税収・財政力は自治体ごとに様々であり自治体間ごとに格差も生じている。我が二本松市も自主財源は減少傾向が続き、依存財源（地方交付税・国庫支出金・地方債等）を頼りに市政運営が行われているのが現状であると思う。しかし地方交付税も国税（5 税）も厳しく、満額交付されていないのが現実で、不足分が生じて一部を各自治体が自ら借り入れする臨時財政対策債（交付税措置のできる）の地方債で補っているのが現実であります。今回の勉強会で予算審議のポイントとして、地方税・地方交付税・地方債・ふるさと納税等の歳入面の問題点のチェック体制を強化しなければと考えました。また、課題として①国と地方の税

源配分の見直し、無地方消費税の拡充、②交付税の引き上げ・交付税の制度改革、③交付税の算定や制度運営に自治体に参加する仕組みなど全国の自治体議員のパワーを結集して、財政面での地方自治を目指そうとのメッセージがありました。

第3講義 国際的な食糧需給情勢と真の食糧安全保障～政治や私達ができること～

鈴木 宣弘 教授

日本の食糧自給率は種や肥料の自給率の低さも考慮すると 38%どころか 10%あるかないか、海外からの物流が停止したら世界で最も餓死者が出る国である。国内生産増強しないとならぬが、逆に国内農業は生産コスト倍増でも農産物の価格が上がらず、廃業が激増しかねない危機的現状である。国民の命を守り、国土を守るには、どんなときにも安全・安心な食料を安定的に国民に供給できることであり、「武器より安い武器は食料である」まさにその通りであると思う。命の源の食料を守るためには、農家の踏ん張りこそが希望の光であると、私も思います。第一次産業の頑張りや誇りと自信を大事にする事と、国や自治体の手厚い手助けと頑張りが必要であると、つくづく感じました。

第4講義 生成AI 政治・行政での応用～自然言語処理研究の事例紹介を通じて考える
生成AIの課題点、生成AIの懸念点、そして生成AIの今後についての講義も受けましたが、今後の社会に於いて素晴らしく良い点もあり問題点もあるのは事実である。

2024年度 予算審議に備える

—時代の変化に対応する自治体財政と政策

日時：2024年2月6日（火）・7日（水）

場所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）・オンライン（ZOOM）

主催：自治体議会政策学会

2月6日（火）

第1講義 13:00~14:30 p.1

『まち保育』のススメ
—子どもを育てる、まちが育つ

三輪 律江

横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 教授

第2講義 14:50~16:20 p.13

自治体財政の見方やポイント
—特に歳入関係から予算書を読む

金目 哲郎

弘前大学人文社会科学部准教授

2月7日（水）

第3講義 10:00~11:30 p.31

国際的な食料需給情勢と
真の食料安全保障

—政治や私たちができること

鈴木 宣弘

東京大学大学院農学国際専攻 教授

第4講義 13:00~14:30 p.57

生成 AI 政治・行政での応用
—自然言語処理研究の事例紹介を通じて考える

狩野 芳伸

静岡大学情報学部 准教授

視 察 研 修 報 告 書

※視察先ごとに作成し報告書に添付

会派 真誠会

議員番号 7 氏名 佐久間 好 夫

○ 研 修 日 令和6年2月6日(火)～⑦日(水)

○ 研 修 地 東京都両国 KFC Hall 2階

○ 研 修 内 容 ・2024 年度予算審議に備える
・時代の変化に対応する自治体財政と政策

○ 主 催 者 自治体議会政策学会

○ 研修の感想

1 日目 (火) 第 1 講義 午後 1 時～2 時 30 分

① 三輪律江 横浜田私立大学大学院都市社会文化研究科 教授

「まち保育」のススメ・・・子供を育てるとまちも育つ

子どもと保護者の育ちを血縁関係だけでなく、地域社会で共有するため、多様な主体を巻き込みながら地域資源を活用したまちとのかかわり方を促す。(空き家・空教室・公園を活用しライフスタイルで)

「我が国の子供の育成環境の改善については2020年度から育成空間が課題と提言されている」・・・日本学術会議より。

子供を育む環境としての、都市計画・まちづくりの課題をりかいし、地域コミュニティーをつくる。

第 2 講義午後 2 時 5 0 分～4 時 2 0 分

② 金目哲郎 弘前大学人文社会科学部 准教授

「自治体財政の味方やポイント・・・特に歳入関係から予算を読む。

現在の自治体においては、税収入だけでは財政運営が困難な市町村がほとんどであり、人口減少が進み、地方経済が低迷・教育・道路・水道などの行政サービスが行き届かない地域が出てくる、そこに住む人の生活保障をどのように進めるべきか、地方自治体の財源保障はどうあるべきか・・・財政学の視点から地方交付税、地方債、ふるさと納税を中心に予算審議ポイントと歳入面からの課題を

紹介してくれた。

2日目 (水) 第1講義 午前10時～11時30分

① 鈴木宣弘 東京大学大学院農学国際専攻 教授

「国際的な食料需給情勢と真の食料安全保障」・・・政治や私たちが
できる事

米国の余剰生産物の最終処分場となっている日本・・・自動車
の利益の為に農と食を差し出す日本・・・農産物関税撤廃
目先の農水予算削減しか見えない財政政策・・・輸入の増加、農業縮
小、自給率低下になるし、承継者がいない等。

国は、農水予算の削減しかない財政施策が目立ちます。・・・国産振興
こそが不可欠なことは誰の目にも明らか。今、財務省は米は作るなど
言うだけでなくその代わりに、小麦・大豆・野菜・そば・餌米・牧草
などに支援していたが、交付金カットを決めた、これにより安全な国
内産の推奨すべきだが、国内産の飼料農家や酪農家の赤字が膨らみ
農家の倒産が増加しているとのこと。加工流通小売業界も消費者もこ
くみんなを守る安全保障の観点からも、国産への思いを行動に移して
ほしい。

第2講義 午後1時00分～2時30分

② 金目哲郎 静岡大学情報学部 准教授

「生成AI 政治・行政での応用」・・・自然言語処理研究の事例紹介を
通じて考える。

特にAI 政治とは・・・AIを活用して政治に生かそう、特に今話 題
のチャットは便利であるが、まだまだであるとのこと。

チャットGPTは膨大な重ね合わせ組み合わせで瞬時に文章を作ってく
れる。しかし、現在では有りもしない情報も生成されうることもあ
るし、倫理や人間関係複雑な状況把握は低性能である。

※ 修了証書(写)は提出、書籍は各自保管する事とします。

以上

令和 5 年度自治創造学会研修受講報告書

議席番号 5 氏 名 坂本和広

○ 開催日時 令和 6 年 2 月 6 日 (火) 13 時～16:20
令和 6 年 2 月 7 日 (水) 10 時～14:30

○ 演 題 「予算審議に備える」
～時代の変化に対応する自治体財政とあ政策～

○ 講 師 三輪律江 金目哲郎 鈴木宜弘 狩野芳伸

○ 研修の感想

「まち保育」のススメとして講義を頂きました。今現在のまちには「地域社会で群れてまねる子育て」をどう捉えるかの観点が不足しているということで、施設整備の際にはスペースに遊び（隠れ家的）な余裕や、当事者が面白いと思えるような施設づくりが肝要との講義でした。（三輪）

「自治体財政の見方やポイント」では、人口減少が進み地方税の税収が減っていくことが予想される状況化での財政運営についてのご講義で、「ふるさと納税」に頼り切った財政運営は危険であることや法定外税（空き家税・ホテル税・産業廃棄物税・再生可能エネルギー地域共生促進税）など多様な課税に対してのご案内を頂きました。講義後の質問にて空き家税（京都府が 2026 年度から実行予定の非居住住宅利用促進税）は現在では全国で 820 万戸もの空き家が現存する日本国として、国が主体として課税すべきと質問しましたところ、金目教授も同意見でした。（金目）

「国際的な食糧需給情勢と真の食料安全保障」の講義では、農業の現状をご教示頂くとともに、日本国内での食の安全のため、種の安全を条例等で守ることや海外からの食品輸入品の危険性をご教授頂きました。（鈴木）

「生成 AI 政治・行政での活用」については今現在の AI 技術の進捗状況や今後の人間と AI とのかかわり方などのご講義を頂きました。講義後の質問でサムスンが同時通訳機能が付いたスマートフォンを発売したが、今後の英語教育の必要性は？と質問をしたところ、将来の外国語教育の必要性は無くなると思うが、微妙なニュアンスの判断やジェスチャーによる感情の表現など人間には多様な意思疎通方法もあることから完璧に不要になるとは言いづらいとのことご回答や、AI が正確に通訳することの懐疑的な意見もありました。（狩野）

(別紙2-2)

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 真誠会

氏 名 高宮 正彦

○ 月 日 2024 年 2 月 6 日～ 7 日

○ 場 所 K F C H A I I 2 n d (東京都墨田区)

○ 内 容 2024年度 予算審議に備える
時代の変化に対応する自治体財政と政策

○ 視察・研修の感想

(まち保育のススメ) 子育てを地域ぐるみで行える様にしていければ良いと思う

また地域の方々との顔合わせもかねて地元を散歩するのも良いと感じた

(自治体財政の見方やポイント) 税収の種類や地方財政についてお話を伺い

どの自治体も厳しい財政で行っているが新たな税収も模索しているようです。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

まち保育のススメを聞いて二本松市としても保育所や幼稚園などから子供が興味をもちそうなスポットを聞き取り妊婦さんや子供を連れて散歩ができるお散歩マップやお散歩講座を開くなど子育て世帯などへの情報発信を行えたら良いと思いました。